

北海道の厳し冬 無事故の決意で！

2020/01/29

北海道トラック交通共済

安全推進企画部

厳冬期、滑る路面や視界不良の危険に加え、
氷点下になり、溶けない雪の影響で・・・

○ 構内での、「チョットの移動」時

○ トラックに雪が付着し悪さをする事例

・・・も、危険の種と認識し、自分の責任として、

雪対策をお願いします

■ 荷台の雪が、氷の塊になり、すれ違いざま、対向車に直撃

○ 直撃したことに気づかず、ドライブレコーダーで、特定された

○ 被害・・・対向車のフロントガラス

○ 『万が一、歩行者に当たっていたら』

● 『走行前の雪下ろし』は、【重要な出発前作業】と位置づけて行いましょう

※ その他：

交差点左折時に、荷台の雪が滑り落ち、隣の車線の乗用車に衝突

ブレーキを掛けたら、キャビンの雪が落ちてきて、ワイパー破損

■ 朝一番、発進時、急発進し、自社のトラック2台に接触した

○ 『アクセルペダルが戻らなかった』

○ 配送中の乗り降りを繰り返すうちに、靴に付着した雪が、足元のヒーターで溶けて、
アクセルペダル付近にたまる。翌朝、凍結しているのに気づかず、事故に至る

■ 走行中、閉めたはずの『観音扉』が開き、積荷が散乱した

○ ワンタッチロック式の観音扉に雪が付着、
しっかりとロックできていない状態だったが・・・

「閉まっているから大丈夫」と・・・走行していた

しかし、弾みで、荷台が開き、積荷が道路に散乱、後続車、数台が被害にあった

※ その他・・・『積荷の落下事故が増加中！』